

○福祉教育推進委員会とは？

多摩区社会福祉協議会では、学校での総合的な学習の時間の導入により、児童・生徒に対する福祉教育の機会が増加したことを一つの契機として、平成12年度から福祉教育の推進を重点事業として取り組んでいます。具体的な取り組みとしては、小・中学校の教職員を対象とした福祉に関する講座の開催をはじめ、学校への情報提供や講師派遣、車椅子等の福祉用具の貸出しなどを通じて、学校との連携を持ちながら福祉教育の推進・支援に努めてきました。

平成18年度からは、現在の住民主体の「福祉教育推進委員会」を設置しました。「福祉教育推進委員会」は、住民の主体性を大切にしながら、学校関係、地区社会福祉協議会、民生委員児童委員、町会・自治会、福祉施設、ボランティア団体、障害者団体との連携・協働により運営されています。多摩区の「地域福祉計画」及び本協議会の「地域福祉活動計画」に基づいて、福祉教育セミナーの開催や福祉教育ハンドブックの作成など、福祉教育の普及・推進に向けた様々な活動を行っています。

○ワーキンググループについて

福祉教育推進委員会では、平成29年度現在「セミナーグループ」と「サポートグループ」の2つのワーキンググループに分かれて活動を実施しています。

セミナーグループ

「地域で共に生きるための福祉」をキャッチコピーに、地域での福祉教育に関する理解者・支援者を増やすことを目的に、福祉教育の啓発のためのセミナーの企画・運営を行っています。

小地域版セミナーでは、多摩区内を5つのエリアに分け、エリアごとに地元の福祉施設の中でセミナーを開催します。当事者や専門職と出会い、話し合うことで、身近な福祉を知り、考え、活動にもつながりやすい機会となっています。

区域版セミナーでは、その年の福祉課題を取り上げ、当事者や専門職の話を聞き、参加者同士で話し合います。参加者同士が話し合うことで、人と人が出会い、かわりについて考えるきっかけとなります。

実際にセミナーを通して、施設を地域住民の交流が深まったり、人と人がつながり、福祉課題を解決するために新しい活動が生まれるなど、セミナーによって地域が変わり始めています。

○活動内容

小地域版セミナー

福祉に関心を持ってもらい、福祉についての理解者・支援者(ボランティア等)を増やし、施設と地域の繋がり作りの一助となることを目的として開催。



区域版セミナー

福祉に関心を持ってもらい、福祉についての理解者・支援者(ボランティア等)を増やすためのきっかけになるような場、そしてその気づきを地域に広げることを目的として開催。



サポートグループ

子どもたちの福祉教育の学びを家庭で受け止めることを目的に、保護者も対象とした福祉に関する講座の開催のための企画・運営を行っています。また、多摩区内の福祉団体の情報や福祉に関する授業の実施例などを掲載した手引きとして、福祉に関する授業や講座等を企画する際の参考資料となるハンドブックの作成を行っています。そして、このハンドブックの活用し、地域と学校の協働を推進するために学校の先生と福祉関係者の交流会の企画・運営を行っています。

○活動内容

親子参加講座

障がい者スポーツ等を通じて障がいについての理解を図るとともに、親子参加を通じて「子ども」と「親」とが共通した体験をすることで、家庭内での会話から福祉についての学びを深められること、子どもたちが現在学んでいる福祉について親に知ってもらう機会を作ることを目的として開催。



教職員との福祉学習についての交流会

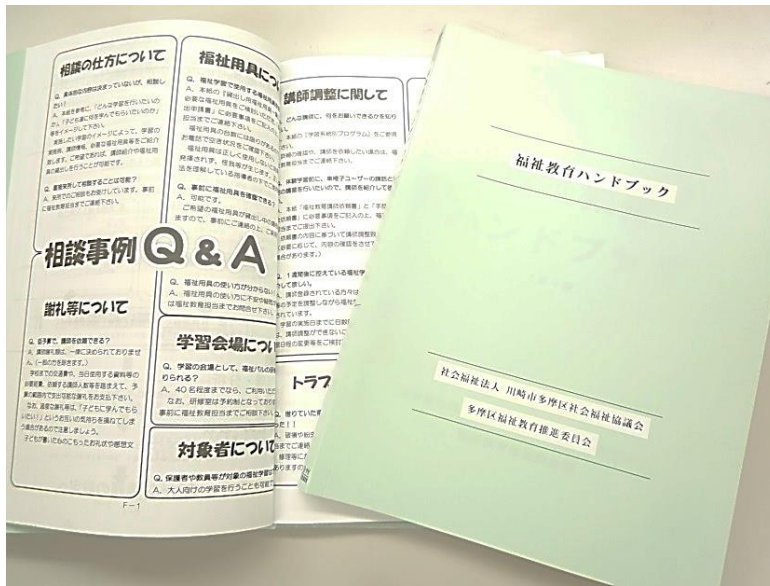
多摩区内の福祉教育をより一層推進するため、区内の教職員の方と区内で福祉学習に携わっている方が交流できる機会を設け、福祉の学習について正しく理解するとともに、福祉教材の正しい活用法を教職員の方に理解していただくことにより、今後の福祉学習に活かすことを目的に開催。



福祉教育ハンドブックの作成

子どもたちを取り巻く環境整備の支え手として、社会福祉協議会が福祉教育を推進し、社会福祉協議会が仲介役となって学校と地域を繋げ、共に福祉教育に取り組むことによって、子どもたちだけでなく、地域を構成する全ての人たちにとっての福祉教育となることを認識とし、かつ、学校における福祉教育の一助となるよう作成。

区内の教育機関が実施する福祉学習の参考資料となることを目的として、現在多摩区内の公立小・中学校に配布。



相談の仕方について

Q. 福祉教育の手続きについて知りたいが、相談したい。
A. 本誌記事に「心も学びたいのの」のコーナーがあります。記事の内容に基づいて、福祉教育の専門家、関係機関の情報を集めて、記事の内容に基づいて、相談の準備を進めます。記事の内容に基づいて、相談の準備を進めます。

相談事例 Q & A

謝礼等について

Q. 感謝状、謝状の書き方を知りたい。
A. 感謝状、謝状の書き方について、記事「感謝状の書き方」を参考にしてください。記事「感謝状の書き方」を参考にしてください。

福祉用具について

Q. 福祉用具で生活する際の注意点。
A. 福祉用具の選び方、使い方、メンテナンスについて、記事「福祉用具の選び方」を参考にしてください。記事「福祉用具の選び方」を参考にしてください。

講師調整に関して

Q. 講師調整について知りたい。
A. 講師調整の方法、講師の選び方、講師の調整方法について、記事「講師調整の方法」を参考にしてください。記事「講師調整の方法」を参考にしてください。

学習会場について

Q. 学習の環境として、福祉教育の会場。
A. 40名程度までなら、福祉教育の会場として、記事「福祉教育の会場」を参考にしてください。記事「福祉教育の会場」を参考にしてください。

トラフ

対象者について

Q. 福祉教育の対象者を知りたい。
A. 大人向けの福祉教育を行うことについて、記事「大人向けの福祉教育」を参考にしてください。記事「大人向けの福祉教育」を参考にしてください。

福祉教育ハンドブック

社会福祉法人 川崎市多摩区社会福祉協議会
 多摩区福祉教育推進委員会